

令和5年度 定期モニタリング評価表（年間）

公表用

施設名	枚方市立香里ヶ丘図書館 ・香里ヶ丘中央公園みどりの広場	所管部署 (連絡先)	総合教育部 中央図書館 土木部 公園みどり課	令和6年6月実施
-----	--------------------------------	---------------	---------------------------	----------

この定期モニタリングでは、以下の表の評価項目・視点により確認を行いました。

評価項目	評価の視点	
1 業務の履行状況	事業・業務等が適正に実施されているか否かについて、実施状況・実施体制を確認します。	
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	市民ニーズの把握・対応状況	アンケート調査等の実施により、市民（利用者）のニーズを把握し、その結果を踏まえて改善を行っているか確認します。
	経済性	料金収入や委託料等の収支状況について、当初の収支計画と乖離がないか、適正な内容となっているかについて確認します。
	サービス水準	指定管理者によるサービス水準が適切なものとなっているかについて確認します。
	リスクマネジメント	緊急事態発生時や機器・設備故障時等における対応状況や、対応体制・対応方法について確認します。
(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）		
(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項		
(4) 改善指示等への対応状況		
2 業務の継続性・安定性	指定管理者の財務状況が継続的、安定的にサービスを提供できる状態にあるかについて確認します。	

施設の概要等			
所在地	枚方市香里ヶ丘 4 丁目 2 - 1	主な業務内容	【図書館】 ・ 教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 ・ 読書案内及びレファレンスに関すること。 ・ 図書館資料の選択、貸出、整理、修理、保存及び除籍に関すること。 【香里ヶ丘中央公園みどりの広場】 ・ 樹木等の維持管理、広場の利用促進に関すること。
設置目的	【香里ヶ丘図書館】 図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館法の規定に基づく図書館を設置する。 【香里ヶ丘中央公園みどりの広場】 公共の福祉の増進に資することを目的とする。		
指定管理期間	令和 5 年4月1日から令和10年3月31日 (2023年4月1日から2028年3月31日)		
指定管理者			
名 称 (JVの場合はグループ名)	図書館流通センター・長谷工コミュニティ共同事業体	代表団体 (JVの場合)	代表団体：株式会社図書館流通センター
所在地(JVの場合は代表団体の所在地)	東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号	構成団体 (JVの場合)	株式会社長谷工コミュニティ

1 業務の履行状況

(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
5	計画以上に独自の新たなサービスを提供し、特に良好な管理運営を行っている。
4	計画以上の良好な管理運営を行っている。
3	計画とおりの適正な管理運営を行っている。
2	一部計画とおりにできていない、又は改善が必要であるが、概ね適切な管理運営を行っている。
1	全く計画とおりにできていない、又は一部不適切な管理運営が行われている。

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
【施設の経営方針に関する事項】				
①施設の現状に対する考え方及び将来展望				
施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が明確に提案されている（確認事項９）				
・基本的な図書館サービスの継承と広場との一体的な運営による香里ヶ丘地域の魅力向上となる積極的な取り組み。	4	・第9圏域住まい地域連絡会（年5回）に参加し、香里ヶ丘地域活動団体との情報交換・共有、連携協力により、地域住民の活動拠点となるよう取り組んでいます。（構成団体：枚方市地域包括支援センターアイリス、URコミュニティ大阪住まいセンター、ひらかた聖徳園 しょうとく＊まちかどステーション、掘り所『ふらっと香里の丘』、香里ヶ丘こもれびカフェ、オレンジカフェ香里園、生活クラブ生活協同組合大阪居場所よりみち、コミュニティサロンなごみ、関西医科大学看護学在宅看護学助教、枚方市健康福祉部健康づくり課） ・11月26日香里ヶ丘CO・COフェスタ連携協力（UR香里団地D-1敷地内の広場活用）。しょうとく＊まちかどステーションとの連携イベントとして、みどりの広場でモルック体験会を実施しました。参加者：子ども10名、大人19名。（協力：一般社団法人ミラいとモルック@協会）。モルックは、健康スポーツとしてだけでなく、認知症やバリアフリー、世代間交流、地域住民の居場所づくり等、様々な将来的な展開を見込めることから、令和6年度より、広場での貸出備品として導入予定です。	3	運営取組事例への記載外にも地域の連絡会へ参加するなど、地域の魅力向上につながる取り組みが評価できる。今後はより積極的に地域との関わりを深め、地域の魅力を高める事業展開を期待したい。また、モルックは貸出用備品として導入予定とのことで、様々な場で効果的に活用されることを期待する。
・新時代に役立つ図書館づくりとウィズコロナをふまえた市民交流・公園連携の事業展開。	3	・令和5年4月よりバーチャル香里ヶ丘図書館をH Pで公開。図書館見学の事前学習での活用、また、多目的室、みどりの広場を含めた施設全般利用の問い合わせにも有効活用し、利用者サービスの向上に繋げています。 ・香里ヶ丘中央公園指定管理者である京阪ひらかたスポーツみどりグループと連携し、みどりの広場にてパークヨガの開催協力を行いました。（年2回）	3	バーチャル図書館を図書館見学の事前学習に活用し、館独自で制作したコンテンツを効果的に活用している点が評価できる。また、公園連携についても実施しており、今後は効果測定も含め、さらなる事業展開を期待する。また、図書館と公園の一体的な管理運営をしている特徴を活かした香里ヶ丘ならではの事業展開を企画されたい。
②施設運営に関する計画				
（ア）管理経費・管理体制の提案				
施設の利用の向上に関する計画が提案されている（確認事項11）				
・植物の活用事業（イベント）の実施。	3	・5月19日に東側自習席前にゴーヤで緑のカーテンを設置、緑化空間を演出しています。7月22日に、ゴーヤの収穫体験会を実施しました。参加者：子ども5名、大人3名。つる植物の栽培図鑑の紹介に加えて、室温上昇を抑え、冷房の使用抑制による省エネルギー効果や、建物に熱を蓄積させないことによるヒートアイランド現象緩和の効果等、カーテンの取り組み意義について、図書資料を用いた解説を行いました。 ・9月24日に「リアルミッケ！ よつばのクローバーをさがせ！！」を実施しました。今後も継続してもらえるように、四葉を持参してくれた子どもには読書シートに四葉ハンコを1つ押印しました。参加者：子ども6名、大人4名。後日、よつばを持参された方には、四葉のクローバーを押花しおりにしてプレゼントしました。好評で子どもたちよりも大人の方から四葉をいただくことが多くなっています。草花摘みを通じて芝生の環境保全にも繋がっています。 ・12月9日おはなし会終了後に、みどりの広場で「まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう！」を実施しました。参加者：子ども20名、大人15名。自然とのふれあいを通じて、みどりの広場との一体感を創出しました。公園で遊んでいた子ども達も、興味を持ってイベントに参加してくれました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。ゴーヤの収穫体験会、よつばのクローバーさがし、ともに工夫されており評価できる。 また、緑のカーテン等の植物活用事業は、居心地の良い空間や建物の省エネ、子どもたちの自然活動体験にもつながるため、今後も計画の趣旨に沿ったより魅力的なイベントを実施されることを期待する。
・工作教室の定期開催。	3	・8月6日に「こども電気工作教室」備長炭電池の工作を通して電気が発生するしくみを学ぶ教室を実施しました。参加者：子ども19名、大人2名。	3	年度事業計画書に記載の通り事業を実施したことを確認した。夏休みの工作行事が定着するよう引き続いたの事業展開を期待する。

・オンラインによる学校の図書館見学や職場体験。	3	・近隣小学校の図書館見学、訪問おはなし会等、積極的に受け入れを行い、児童らにとって、より図書館を身近に感じてもらえるようなアプローチを行うとともに、4月に開始した「バーチャル香里ヶ丘図書館」も活用し、リアル見学の事前学習や、普段は見る事ができない書庫や返却ポスト内を覗いてもらうなど、図書館の利用案内にも役立てています。 ・10月30日図書館インタビュー、開成小学校2年生14名、教諭1名。 ・2月5日図書館インタビュー、東香里中学校1年生6名。	3	バーチャル図書館を図書館見学の事前学習に活用し、館独自で制作したコンテンツを効果的に活用している点が評価できる。また、普段は見る事のできない書庫などを紹介する取り組みも、図書館により親しみ・興味を持ってもらえるよう配慮したもので評価できる。バーチャル図書館は鮮度が落ちないような仕掛け、工夫ができるとなお良く、引き続いての取り組みに期待する。
・図書館俳句コンテストの実施。	4	・雑誌「現代俳句」とのコラボ「図書館俳句ポスト」を設置しています。 - 令和5年度実績：315枚、計494句。（前年比81%増）。令和4年度実績：199枚、計272句。 「現代俳句」に佳作＆入選実績：29句掲載。ウェルカムコーナーに関連資料を数冊展示しており、月20冊程度の貸出があることから、選書（新刊・補充）にも重点を置いて取り組んでいます。 ・9月14日に「初心者向け俳句講座」実施。参加者14名。発表の場を設けることで、参加者同士の会話も弾み、更なる発表意欲を促進する効果が得られました。 - イベント参加者の新規登録や、関連資料も新たに購入したこともあり、貸出増加に繋がっています。	4	「図書館俳句ポスト」の利用は前年度比で増加しており、定着しているものと評価する。雑誌との連携により投稿句の一部が雑誌に掲載されるなども利用者のモチベーション向上に寄与しているものと推察され、また、俳句講座も効果的な事業となるなどの実績は高く評価できる。
・あおぞらおはなし会での自然活動プログラムの実施。	3	・あおぞらおはなし会、グリーンライブラリー等の開催に合わせて、公園での自然（昆虫、クローバー、どんぐり、まつぼっくり等）を活用したプログラムを実施しました。テントウムシの絵本読み聞かせに合わせて、幼虫やさなぎの実物紹介を行うなどの工夫を行っています。	3	公園との一体的な管理・運営である特色を活かし、自然とのふれあいの場を提供した点が評価できる。
・防災ピクニック等、住民参加型による事業の実施。	3	・9月24日「リアルミッケ！よつばのクローバーをさがせ！！」を実施しました。参加者とともにみどりの広場のゴミ拾いを行い、芝生の保全に努めました。参加者：子ども6名、大人4名。	-	防災ピクニックは年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている（確認事項12）				
・関係法令や枚方市立図書館条例について理解するための研修の実施。	3	・地方自治法をはじめ、枚方市図書館条例、枚方市都市公園条例他、関係法令を遵守した管理運営を行っています。図書館の基本的な法令や「図書館の自由に関する宣言」「図書館員の倫理綱領」等、運営に関する指針・綱領等は、スタッフ全員が携行する「ライブラリースタッフハンドブック」に記載し、入社時の必要研修等で理解を図っています。	3	多様なテーマで研修が実施されていることを確認した。また、関係法令等を記載した「ライブラリースタッフハンドブック」については、必要に応じて順次改訂し、常に最新のものを活用されたい。
・入社時研修及びスタッフ研修の実施。	3	・入社ガイダンス、新人研修、テーマ別研修、レベルアップ研修、ステップアップ研修を職層、経験に応じて実施しています。令和5年度については、コロナ感染予防対策をふまえ、オンラインによる研修をメインに実施しています。	3	経験に応じた研修や業務に直結する研修などが実施されていることを確認した。新型コロナウイルス感染所が5類へ移行したが、オンライン研修の利便性も考慮し、適宜適切な研修を期待する。

業務繁忙時にも対応できるよう、施設に必要な従事者及び有資格者を適正に配置するとともに、利用者サービス向上、効率的・効果的な管理運営の観点から踏まえた実施体制等について提案されている（確認事項13）				
・企業のスケールメリットを活かした繁忙期対応。	3	・夏季繁忙時には配架専任スタッフ1人を配置しました。同一自治体内でも、応援体制を構築しています。 ・みどりの広場で実施した野鳥講座では、同一自治体内で応援体制を整え、カウンター業務だけでなく、イベントにも応援スタッフに補助をってもらう等、スタッフ育成にもつなげています。	3	本市における他館との相互応援体制整えるなど、企業のスケールメリットならではの応援体制が構築されていることを確認した。
・適正な人員配置。	3	・フルスタッフ15人、シニアスタッフ3人、計18人の組み合わせでイベント開催時に必要な人員を確保しています。司書率77.7%（3月31日現在）	3	本市の求める司書率（70%）以上の人員を確保（中間評価と同率）して運営していることを確認した。
・利用者サービス向上、効率的かつ効果的な管理運営を目指す多様な研修の実施。	3	・7月4日「図書館でのSNS活用」、8月21日「レファレンス：事例研修」、9月15日「論理的なコミュニケーション講座」、11月16日「スタッフ育成」、12月4日「Let's 棚づくり」等、スタッフの習熟度に合わせて研修を実施しました。	3	実務に役立つテーマを設定した研修の実施を確認した。今後は研修の効果測定についても検討されたい。
（イ）改善提案				
図書館の新規登録者を増やすための取組が提案されている（確認事項14）				
図書館の来館者を増やし、貸出冊数を増やすための取組みが提案されている（確認事項15）				
・利用促進強化月間を設定するなど、取組みの周知、来館促進企画、読書意欲の喚起を行い、新規登録者数、貸出冊数の増加に努める。	4	・秋の読書週間に、読路・牧野合同で、新オリジナル菓を配布。（イラストレーションチェック・黒岩多貴子氏デザイン） ・入口すぐにあるウエルカムコーナーを2024年1月中旬に一新。既存の「俳句ポスト」、「季節の絵本」に加えて、「としょかん福袋」、「MOE絵本屋さん大賞作品」、「防災」等、時宜にかなったテーマの本を順次配置することで児童書の貸出冊数（前年同月比で1月：421冊、2月：1,119冊、3月：1,312冊）が増加する効果を得られました。 ・1月4～5日「としょかん福袋」34袋提供。 ・読書シート令和5年度実績：配布4,305枚、20冊達成記念品2,320個（前年比13%増）。令和4年度実績：配布4,968枚、20冊達成記念品2,049個。昨年度より20冊読破した子どもが13%増となり、読書意欲や貸出冊数の増加に繋がっています。	4	貸出に結びついた企画や前年度比で実績が増加した企画があり、効果的な取り組みが評価できる。 オリジナル菓は香里ヶ丘図書館で4,000枚配布した実績も評価でき、利用者からもデザインが好評で、種類の違う菓の配布を求められるなど図書館への来館につながる事業となった点が評価できる。俳句ポストは図書館への来館に結びつく事業であり、としょかん福袋等の事業も児童書の貸出冊数増加につながり、また、読書シートも前年度実績を上回るなど、取り組んだ事業が効果的だったものと評価できる。
・近隣に広報誌やチラシ等をポスティング。	3	・第9圏域住まい地域連絡会に参加し、各施設で、イベントチラシの掲示と配布を依頼しています。	3	地域と連携し、イベント情報の掲示等が適正に行われていることを確認した。
・香里ヶ丘のお誕生日会（毎月開催）	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
・住民同士の学びの交流（月2回実施）。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。

	・本の貸出にプラスアルファの楽しみを加味する工夫。（ガチャマシーン、住民参加による箱庭図書館制作、「この本見てつくりました」展示等）。	3	・1月23日～2月12日まで、ぐりとぐら展示を実施しました。「ぐりとぐらおはなしクイズ」やぐりとぐらになりきって写真を撮れるフォトスポットを設置しました。 ・2月27日～3月24日「この本見てつくりました」展示を実施しました。図書館資料を参考にスタッフが作成した工作や手芸作品等を資料と共に展示。利用者からも好評で、ご自身も参加したいとお声が多かったことから、次年度の夏に利用者向けの募集・秋に展示開催する予定です。 ・令和6年度より使用するガチャマシーンを購入済みです。	3	展示にあわせたテーマ企画の実施や利用者から好評を博した展示等の取り組みが評価できる。「箱庭図書館制作」については、次年度以降適正に実施されることを期待する。
	・ファスト・ライブラリー（テーマ別にセレクトした本をパッケージ化して貸出）の実施。	4	・3月20日「ファスト・ライブラリー」を開始しました。「どんな本を選べばよいかわからない」、「本を選ぶ時間がない」等、子育て層や、働く世代の方向けに、特定のテーマ別にセレクトした本をパッケージ化して貸出します。対象：乳幼児 5テーマ「たべもの、どうぶつ、のりもの、おやすみ、ことばのリズム」各2冊入りの袋を20セット用意しています。	3	中間期では未実施の「ファスト・ライブラリー」が実施されていることを確認した。次年度には実績・効果測定について、手法も含めての検討を期待する。
利用者サービス向上の観点から、設置目的等を踏まえた備品の貸出などのサービスが提案されている（確認事項16） 施設・備品等について、図書館又は広場の魅力アップのための具体的なアイデアが提案されている（確認事項17）					
	・利用者サービス向上・魅力向上のための備品の貸出。（ブックカート、館内貸出用タブレット、モバイルバッテリースポット設置、ポップアップ簡易テント、充電式サーキュレーター、子どもの外遊びのための運動遊具や玩具等）	4	・7月29日より、みどりの広場備品（遊具）貸出サービスを開始。利用満足度、今後の備品購入に際しての参考とするため、使用後のアンケート協力をお願いします。各備品のリピーターも存在し、テントやレジャーシートを使用して、家族、友人とお昼を囲むなど、新たな公園利用が生まれています。令和6年度から、新たにモルックを追加します。 7月～3月実績： ・ポップアップテント：35回 ・サーキュレーター：16回 ・なわとび：77回 ・ミニダーツ：37回 ・バトミントン（大・中・小）：65回 ・レジャーシート：103回	4	みどりの広場での利用を中心に中間期から大きく実績を伸ばしており、新たな公園利用に結びついているなど、公園との一体的な管理・運営施設の特色が出ていると判断できる。また、備品利用後、参考のためにアンケートを実施し、購入備品の参考としている点も施設と利用者が双方向で、より利用しやすい環境をつくる意欲の表れであり、高く評価できる。
図書館2階多目的室の活用（空き時間の自学自習タイム等）について提案されている（確認事項18）					
	・利用者層のニーズや社会状況に合わせた柔軟な諸室の活用。	4	・多目的室1を、月曜日～金曜日は15：00～21：00、土曜日は12：00～21：00、日曜日・祝日・3学期の休みは終日、そして定期テスト前の土曜日は終日、自学・自習タイム（PC使用OK）として活用しています。 令和5年度 利用数：1F：10,256件、2F：11,628件 計21,884件。（前年比4%増）。令和4年度：1F：9,710件、2F：11,320件 計21,030件。 ・自習席の需要が高まっており、定期テスト前には空き室があった場合は、自学・自習タイムに活用しています。 ・定期テスト期間中は、10代の新規登録・更新が多くなっています。以前は土曜日の終日利用を2週間に設定していましたが、進学受験等により、テスト期間が異なるため、4週間前後必要となっています。友人の口コミ効果もあり、他校区からの利用も増加しています。	3	自学・自習のためのスペースとして、多目的室を効果的に活用し、前年度比で増加しており、団体や主催事業以外でも空き室があれば柔軟に対応しており評価できる。

	・部屋の利用から施設利用やイベント参加につながる取り組み。	3	・6月4日に「あおぞらヨガ体験会」を実施しました。体験会をきっかけとして、多目的室使用団体サークルの会員増にも繋がりました。参加者：大人18名。 ・11月26日「初心者写真教室」を実施しました。参加者：大人13名。令和6年度は、本格的なサークル活動団体発足を目指して、企画準備しています。	3	実施事業数は少ないが、事業後にサークル会員数が増えたり、新たなサークルづくりにつながるなど、単なる事業実施にとどまらず、その後の展開につながっている点が評価できる。
利用者の課題解決を支援するレファレンスサービス等について具体的なアイデアが提案されている（確認事項19）					
	・経験・体験の機会の提供。	3	・8月23日「あそぼう！ボードゲームで！！」香里ヶ丘こどもボードゲームクラブWITH Eの協力を得てイベントを実施。子ども達が主となり、参加者にゲームの遊び方を指導。図書館資料『ミッケ！』シリーズを用いたゲームなど、参加者同士の交流が生まれました。参加者：子ども23名、大人11名、計35名。 ・11月3日毎年好評いただいている「大人の塗り絵教室」を実施しました。参加者：大人18名。	3	ボードゲーム事業は地域の団体と連携して開催し、参加者同士の新たな交流の場となるなど、効果的な事業であり評価できる。
	・課題解決支援を目的としたイベントの実施。（セミナー・交流イベント、情報検索・リテラシー講座等）	4	・10月19日、11月16日、12月14日、3回連続講座「健康講座 女性特有のがんとリンパ浮腫～リンパドレーンージュについて～」を実施しました。参加者：のべ大人89名。専門の医師とセラピストの講演や、患者の会の体験談もあり、参加者の関心と満足度は高かった。事後アンケートで「がんの予防法を知りたい」といった声を多くいただいたため、次年度も継続して開催する方向で、連携先との協議を進めています。 ・「未来の保育士さん、幼稚園のせんせい」出張相談会の会場として談話広場を提供しました。（令和5年度5回開催）。相談会に参加された方向けに、保育、幼児教育関連資料等のレファレンス対応を随時行っています。	3	健康講座については参加者も多く、アンケートによる検証も行い、次年度継続開催予定ということ、また、出張相談会も、単なる場所貸しにとどまらず、レファレンス対応も行うなど、これらの取り組みが評価できる。
(ウ) 事業提案					
ウィズコロナの観点から、SNS・動画配信サービス等を活用した事業が提案されている（確認事項20）					
	・バーチャル図書館の構築	4	・令和5年4月よりバーチャル香里ヶ丘図書館をHPで公開。インターネット上で、図書館閲覧室内や多目的室の様子を見ることができ、貸室の利用をご検討の方にも非来館で見学、案内が可能になっています。 ・開館中で図書館見学が難しい場所については、バーチャル図書館で案内しています。 ・学校での事前学習にもご利用いただいています。	3	バーチャル図書館を図書館見学の事前学習にも活用し、図書館の理解をより深めてもらえるよう、館独自で制作したコンテンツを効果的に活用している点が評価できる。
	・SNSの活用、住民参加型の公式YouTubeチャンネルの開設。	3	・公式ホームページhttps://www.korilib-hirakata.comを開設して情報を発信しています。また、FacebookとInstagramでイベント情報等を発信しています。 ・「YouTubeチャンネルの開設」については、次年度以降に実施予定。	3	HPやFacebook等での情報発信を確認した。次年度以降に実施予定のYouTubeチャンネル開設について適正に実施されること、また、既存のSNSについても情報鮮度の保持に努められたい。
	・リアルイベントの配信・オンラインイベントの実施。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
図書館1階香里ヶ丘ギャラリーの活用方法（展示作品募集・市民の作品展示コーナーなど）や備品購入等による整備について提案されている（確認事項21） 香里ヶ丘地区の拠点施設として、地域の活性化に資する事業が提案されている（確認事項22）					

・商業施設との連携。	3	・近隣商店街CORiOが夏祭りで設置した七夕の笹飾りを期間終了後、図書館正面の植栽に移設（7月10日～23日）、来館者に楽しんでいただきました。	3	毎年恒例の七夕飾りで商店街との連携実績を確認した。今後は対象商業施設エリアを拡大を検討するなど期待する。
・ボランティアとの連携。（ギャラリー活用）	3	・第4土曜日「ほっとホット絵本」おはなし会。 ・偶数月第3日曜日「おはなしソラシド」おはなし会。 ・「枚方おはなしを語る会」ストーリーテリング。	3	本市の要求項目水準を満たしていると判断できるが、ギャラリー活用におけるボランティアとの連携については引き続き実施されたい。
・URコミュニティ大阪住まいセンターとの連携。（ギャラリー活用）	3	・住まい地域連絡会の構成メンバーである、URコミュニティ大阪住まいセンターと連携を図り、相互のイベントポスターを、ギャラリーにて随時掲示しています。	3	ギャラリー活用における連携は確認できたが、ポスター掲示以外の活用についても検討されたい。
・地域サークルとの包括的な連携。（写真サークルとの連携事業等）	4	・市民作品展示 4月13日～20日「大橋謙三第1回作品展切り絵と型染絵」開催。 6月1日～14日「チューリップ絵本原画展示＆四季の風景」開催。 11月23日滝口進写真展「徒然なるままにFBⅡ好奇心は今日も全開」開催。26日に「初心者写真教室」を実施しました。参加者：大人13名。 利用者からも大変好評で次回開催を望む声を多数いただきました。	3	サークルとの連携事業や市民作品の展示、また、継続開催の希望が寄せられた事業など、ギャラリーの活用も含め、活発な活動状況が評価できる。
図書館と公園の機能連携を視野に入れた、図書館と広場との一体的な運営が提案されている（確認事項23）				
・図書館と公園の特徴を活かした地域活性化と非来館者の利用促進。（年4回以上開催）	3	・4月29日「グリーンライブラリー」を実施しました。参加者：子ども48名、大人32名。広場貸出用のポップアップテントや、レジャーシートも設置し、面展台に布絵本を並べたことで、屋外での開放感がうまくマッチして、参加者にはゆったりした時間を過ごしていただくことができました。 ・9月24日「リアルミッケ！ よつばのクローバーをさがせ！！」を実施しました。参加者：子ども6名、大人4名。 ・11月4日「おにいさんのおおぞらおはなし会」を実施しました。参加者：子ども12名、大人10名。 ・11月26日「モルック体験」を実施しました。参加者：子ども10名、大人19名。健康スポーツとしてだけでなく、認知症やバリアフリー、世代間交流、地域住民の居場所づくり等、新規来館者の獲得につながる機会となるよう、令和6年度も継続して実施予定です。 ・11月26日「初心者写真教室」を実施しました。前半は座学、後半は公園で撮影。参加者：大人13名。 ・3月16日「ひらかた電子図書館体験会」参加者：子ども11名、大人10名。 ・各イベント参加を通じて、初来館の方には、新規登録をご案内して、新たな利用者獲得に繋げています。	3	中間期では未実施であった「おにいさんのおおぞらおはなし会」の実施を確認したほか、図書館と公園の特徴を活かした事業の実施を確認した。
・公園で本を読む、赤ちゃん図書館＆公園デビュー、季節の自然に親しもうの実施。	4	・10月18日「おおぞらあかちゃんおはなし会」を実施しました。参加者：子ども30名、大人25名。 通常で5～10組くらいの参加のところ、倍以上の参加があり大変盛況でした。広場貸出用のポップアップテントや、レジャーシートも設置し、「えほんの広場」用の面展台に布絵本を並べたことで、グリーンライブラリー的な雰囲気と、屋外での開放感がうまくマッチして、保護者らには、ゆったりした時間を過ごしていただくことができました。30歳代と乳幼児（子育て世代）の新規登録に繋がりました。	3	中間では未実施であった「おおぞらあかちゃんおはなし会」「季節の自然に親しもう」は、後期に実施されたことを確認した。貸出用の備品を効果的に活用した取り組みもあり、事業の実施効果として、新規登録につながった点も評価できる。

・夜の公園と図書館を活用したイベントの実施。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
・公園での健康イベントの実施。	3	・開放感のある、みどりの広場の芝生の上で6月4日「あおぞらヨガ体験会」を実施しました。参加者：大人18名。参加者募集に合わせて、館内でも関連本展示を行いました。広場でのイベントや、読書に使用いただけるレジャーシートの貸出も行っています。	3	公園での事業にあわせた館内展示の実施、レジャーシートの貸出等、適正に実施されたことを確認しました。今後ミニアンケート等、効果測定を活用も検討されたい。
・野鳥講座の実施。	4	・3月24日「野鳥講座～バードウォッチング～」を実施しました。参加者：子ども6名、大人21名。野鳥の生態や双眼鏡の使い方のコツを学び、子どもから大人まで楽しんでいたことができました。参加者からは、朝の散歩時に公園を通るので、双眼鏡を持参して鳥を見つける楽しみが増えたとお声をいただきました。	3	中間期では未実施であったが、適正に実施され、参加者から好評を博した点が評価できる。身近に自然が多く残る地域の図書館であるだけに、今年度実績も参考に、開催頻度の検討も含め、次年度以降も開催を期待する。
・星空観察会の実施。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
図書館子ども読書活動推進計画の趣旨に沿った子ども向け行事事業が具体的に提案されている（確認事項24）				
・おはなし会（週1～2回以上）。	3	・令和5年度、スタッフによるおはなし会を48回実施しました。 参加者：子ども428名、大人347名、計775名	3	定例のおはなし会が開催されたことを確認した。おはなし会の内容は当日の参加年齢層にあわせ、柔軟に対応できるよう丁寧な選書を行うことを期待する。
・青空おはなし会（年8回以上）。	3	・あおぞらおはなし会（通常版）を4月29日、5月6日、20日、6月3日、11月11日、3月2日、16日、30日に計8回実施しました。参加者：子ども69名、大人52名、計121名。 ・10月18日「あおぞらあかちゃんおはなし会」を実施しました。参加者：子ども30名、大人25名、計55名。 ・11月4日「おにいさんのあおぞらおはなし会」を実施しました。参加者：12名、大人10名、計22名。 総計：年10回、計198名。	3	要求事項水準を満たしていることを確認した。みどりの広場との一体的な管理運営施設の特徴を活かし、要求回数以上の開催も検討されたい。
・乳幼児向けおはなし会、パパと一緒にのおはなし会、子どもブックトークライブの実施	3	・「あかちゃんおはなし会」を第3水曜日に実施しました。 4月～3月参加者：子ども82名、大人80名、計162名。 ・10月18日「あおぞらあかちゃんおはなし会」を実施しました。参加者：子ども30名、大人25名。 ・8月12日「こわいおはなし会」2階多目的室で実施しました。 参加者：子ども53名、大人43名、計96名。（前年比5割増）。 ・11月4日「おにいさんのあおぞらおはなし会」を実施しました。参加者：12名、大人10名。 ・パパと一緒にのおはなし会は、通常のおはなし会の一環で、父子で参加しやすい曜日に公園で開催するなどしました。 ・ブックトークライブについても、通常のおはなし会の一環で、テーマに添った本を照会するなどしました。	3	中間では未実施であった「あおぞらあかちゃんおはなし会」、「おにいさんのあおぞらおはなし会」は、後期に実施されたことを確認した。前年度比5割増しの事業もあり、効果的に実施されたと評価できる。今後は、簡単なアンケートを活用するなど、効果検証の手法も含め、検討願いたい。
・児童向けデジタル絵本をつくろう、親子読書感想文応援講座、おすすめ本コーナー開設。	3	・7月25日～9月10日「こどものための100冊 2023～ボクニキミニ～」おすすめ本展示を実施しました。	3	おすすめ本展示が適正に実施されたことを確認した。児童向けデジタル絵本をつくろう、親子読書感想文応援講座、おすすめ本コーナー開設は年度事業計画書に記載はないが、事業計画書ののっとり、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。

	・YA向けYAコーナーの充実、図書委員との協同企画、YAおすすめ本棚づくり。	3	・11月1～2日、第四中学校の職場体験（4名）を実施しました。YAコーナーの棚づくりのほか、生徒が作成したPOPを紹介してもらった場として、ピリオトークを実施しました。観覧者：5名。 ・4月、YAコーナーに「乙女の本棚」を設置。2月13日～25日ギャラリー展示「乙女の本棚」パネル展示を実施しました。	3	ギャラリー展示とリンクしたコーナーを設置するなど、YA世代に向けた取り組みが評価できる。引き続きYA世代に向けたアプローチの企画・実施を期待する。
一般成人を対象とした図書館読書振興事業が具体的に提案されている（確認事項25） ウィズコロナの観点から、電子図書館の利用を増やすための取組みが提案されている（確認事項26）					
	・本や情報を通じた出会いの場、世代間交流の場の創出。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
	・一般成人を対象にした本でつながる「香里ヶ丘の本棚」の常時展示。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
	・本と人につながる読書会、文学講座、朗読・おはなし会の実施。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
	・電子図書館体験イベントの開催。	3	・あおぞらおはなし会開催に合わせて、3月16日「ひらかた電子図書館体験会」を実施しました。参加者：子ども11名、大人10名。動く絵本コンテンツの紹介や、新規登録の方法等をご案内しました。	3	提案内容が適正に実施されたことを確認した。電子図書館の利用は小学生世代の利用が最も多い中、一般向けの事業開催にも期待したい。
	・電子図書館活用インストラクター認定講座の開催。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。

(工) 利用者対応提案				
セルフモニタリング及び利用者等に対するアンケートの実施について提案されている（確認事項27）				
・市民ニーズの把握と運営への反映。	3	・10月1日～14日まで「枚方市立香里ヶ丘図書館に関するアンケート」を実施しました。850枚配布、420枚回収。 ・評価については館内整理日の全体MTGで共有して改善に努めています。また、行事実施の際には必ずアンケートを実施して、利用者ニーズの把握に努めています。	3	アンケート結果の共有と課題改善、また、行事の際にはアンケートを実施し、ニーズの把握に努めている点が評価できる。
・子どもおたよりコーナーの開設（子どもアンケートの実施）。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
・W E B アンケート等の実施。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
・イベント、特集展示アンケートの実施。	3	・9月1日～24日まで絵本『キャンピングカーのたび』（福音館書店）の大型パネルと関連本をギャラリー展示。小学生から80代まで9割の方よりご満足の回答をいただきました。 ・2月27日～3月24日ギャラリー展示「この本見て作りました」を実施しました。シール投票を活用して、投票結果を後日発表しました。利用者からは、自身もやってみたいという感想が多かったことから、次年度は、市民参加型の作品展示を企画検討しています。	3	アンケートにより事業の効果測定を行い、今後の企画に活用している点が評価できる。引き続き、他の事業についてもシール投票など、手法に工夫を凝らしながら効果測定を行うことを期待したい。
利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている（確認事項28） 利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法について提案されている（確認事項29）				
・事例に基づいたマニュアルの整備と研修の実施。	3	・「TRC危機管理マニュアル」及び緊急連絡網を整備しています。また災害時に備えて、施設内外の安全確認を行うための初動調査チェック表を整備しています。	3	危機管理マニュアルの整備や研修の実施等を確認した。
・館内の定期巡回の実施。	3	・図書館施設・みどりの広場を定期的（午前1回、午後2回、夜間1回）に巡回を行っています。	3	定期巡回が適正に行われていることを確認した。
・危機管理研修・訓練計画の策定。	3	・館内整理日MTG、8月28日、2月26日の消防訓練の機会に、危機管理マニュアルに沿ったロールプレイング形式の研修を実施しました。	3	危機管理研修・訓練計画が策定されていることを確認した。
・研修・訓練の実施。	3	・TRC安否確認送受信訓練を9月21日に実施しました。 ・長谷工安否確認・物件被災状況一時確認訓練を10月27日に実施しました。	3	危機管理研修・訓練が実施されたことを確認した。

利用者に対する接遇対応向上について研修計画等が提案されている（確認事項30） 業務に従事する者が、人権について正しい認識をもって業務を遂行できるよう、人権研修について提案されている（確認事項31）				
・接遇研修の実施。	3	・館内整理日MTG、5月23日接遇研修を実施しました。	3	接遇研修の実施を確認した。
・アグレッシブホスピタリティ研修の実施。	2	・令和6年度に実施予定。	2	年度事業計画書に記載の研修であり、次年度以降早い段階で適正に実施されたい。
・立場や状況に配慮した接遇・サービスの実施。	3	・2月に、「やさしくよめるLLブックコーナー」を設置しました。 ・3月27日「障害のある人と人権～誰もが住みより社会をつくるために」研修を実施しました。	3	自己評価に記載以外にも手話研修等、事業計画書に記載の通り適正に実施したことを評価する。今後は、実施した事業についての効果測定にも期待したい。
【施設の管理に関する事項】				
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されている（確認事項32）				
・法定資格者の選任と法定点検の実施。	3	・防火管理者・電気主任技術者を選任し、枚方消防署及び中部近畿産業保安監督部近畿支部に届出済みです。	3	適正な専選任と点検が実施されていることを確認した。
・適切な保守点検の実施。	3	・毎月1回、設備機器チェックリストを用いて巡回設備点検を実施しています。 ・第三者委託の承認を得たうえで、専門業者に定期点検を委託して行っています。	3	保守点検が適切に実施されていることを確認した。
建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されている（確認事項33） 施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出、処理の提案がされている。（確認事項34）				
・みどりの広場の維持管理業務年間計画表の作成。	3	・修繕計画・実績表を作成しています。	3	維持管理や修繕の年間計画表を作成し、計画通り実施している。
・植栽や芝生広場の維持管理の実施	3	・植栽管理委託先と協議し、年度計画を作成の上適切に実施しています。また、日常清掃と共に、正面の植栽や芝生、のり面、みどりの広場の芝生などに水やりを適宜実施しています。	2	芝生の管理作業において、計画通りに実施できているが、今後の様々な利活用を想定した場合、一定得られる効果（砂塵の抑制、照り返しの防止、地表面の温度上昇の抑制、子供の転倒時等のケガの防止など）や、魅力の低下を防止するため、肩掛けでの除草ではなく、ロータリーモアなど芝刈り機を用いた芝生に配慮した作業が望ましい。また、のり面の植栽については、良好な景観の維持に努められたい。
・適正な廃棄物の取り扱い。	3	・所定の保管場所で廃棄物を分別し、廃棄物収集運搬許可業者に依頼して排出・処理をしています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
備品管理にあたり、管理簿の整備及び責任所在について提案されている（確認事項35）				
・備品管理簿の作成及び更新、また修繕と更新。	3	・枚方市備品等無償使用可能一覧表及びTRC管理物品一覧を整備し、内容変更があった場合には、随時更新を行い適正に管理しています。	3	備品管理簿が作成更新されており、適切に行われていることを確認した。
・消耗品の管理。	3	・発注管理簿を作成し、適正に管理しています。コピー用紙、貸出レシートロール等の多数在庫を保管しているものについては、別途、在庫管理表を作成しています。	3	管理簿により適正に管理されていることを確認した。

環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、節電などエネルギー対策が具体的に提案されている（確認事項36）				
・廃棄物管理責任者講習の受講等、環境問題についての新たな情報知識の習得の積極的な推進。	3	・廃棄物管理責任者講習を受講したほか、スタッフ間で環境問題を意識し、関連図書から最新の情報共有を図る等努めました。	3	講習の受講や関連図書の共有化を図るなどの取り組みを確認した。
・コスト削減につながる活動や修繕。	3	・開館前、閉館後は必要箇所のみ照明を点灯、空調も推奨設定温度を心掛けています。事務室ではゴミ箱を分別するように設置して、リサイクルへの意識付けを行っています。また、使用済みの用紙類は古紙回収に回しています。	3	コスト削減やエネルギー対策を意識した取り組みを確認した。
・来館者に向けた啓蒙活動。	3	・1F正面玄関にデジタルサイネージ、「ひらかた 夏エコライフキャンペーン」などの市の啓発情報を発信しています。 ・庁内報への掲載、チラシ配布。	3	環境をテーマにした情報を来館者に向けて発信していることを確認した。
業務仕様書の内容に従い、適切なW i - F i 環境が明確に示されている（確認事項37）				
業務に従事する者及び利用者の手指や備品の消毒、施設の換気等、感染症の拡大防止策が提案されている。（確認事項38）				
・「W i - F i 提供者向けセキュリティ対策の手引き」を踏まえた適正な管理。	3	・適正な管理に努めています。 ・2F多目的室1、2及び1F開架フロアでFREE WiFiを提供しています。 令和5年度実績：577,399件（前年比29%増）。令和4年度実績：446,202件。	3	適正に管理され、前年度以上の利用実績を確認した。
・感染症の拡大防止策の実施。	3	・コロナ感染防止のため、机・椅子・書架・ドア・手すりなど、人が接触する箇所の消毒を継続、実施しています。 ・4月に個室洋室トイレ（8 箇所、子どもトイレ含む）に便座除菌クリーナー用ディスペンサー設置）。	3	感染症拡大防止策はもとより除菌クリーナーの設置も確認した。
【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】				
枚方市情報開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている（確認事項39）				
・公式ホームページ・SNSによる施設の情報発信	3	・公平性、透明性、迅速性をもって対応しています。実施した利用者アンケートの集計結果を館内掲示、公式ホームページ、Instagramに掲載し、どなたでも自由に閲覧いただけるように環境を整えています。	3	インターネットを通じた情報発信を確認した。
・市民と施設との信頼関係の構築	3	・情報の公開と保護を適正に行い、情報公開請求に対応します。	3	アンケート等を通じての市民と施設との信頼関係構築に向けて努力がなされていることを確認した。
・請求に対する真摯な姿勢と自治体との協調。	3	・請求者の知る権利と市民の情報保護の両方の観点に配慮し、自治体と協調して行います。	3	請求に対しては適正に対応する体制となっていることを確認した。
・開示・非開示における個人情報等の十分な配慮。	3	・生命・身体・財産、その他の権利を侵害する恐れがある場合は、また、他の法令に違反する恐れがある場合には、十分に配慮し、検討します。	3	個人情報に係る情報について、適正に対応する体制となっていることを確認した。

枚方市個人情報保護条例の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている（確認事項40）				
・個人情報保護研修の実施。	3	【（株）図書館流通センター】 ・入社時研修、新人研修で実施し、年に1回プライバシーマーク研修（テスト付）を9月13日に実施しました。 【（株）長谷工コミュニティ】 ・入社時研修、新人研修で実施し、年に1回プライバシーマークeラーニング研修（テスト付）を9月13日～9月29日に実施しました。	3	個人情報保護研修が実施されていることを確認した。
・社内監査チームによる定期監査。	3	・個人情報保護チェックリストを年に1回内部監査時に更新しています。 【（株）図書館流通センター】 ・「人事・労務」、「運営・会計」、「個人情報保護」に関する内部監査を10月20日に実施。 【（株）長谷工コミュニティ】 ・「人事・労務」、「運営・会計」、「個人情報保護」に関する内部監査を10月30日～11月22日に実施。 ・「下請法監査」に関する内部監査を7月12日～7月31日と2月13日～2月22日に実施。 ・「リスク監査」に関する内部監査を11月1日～12月8日に実施。	3	内部監査が適正に行われていることを確認した。
【緊急時における対策に関する事項】				
緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されている（確認事項41）				
・危機管理マニュアルの作成	3	・危機管理マニュアルを作成し、全国の運営経験で得た実践的な専用テキストで研修を行っています。	3	危機管理マニュアルが作成され、最新の状態であることを確認した。
緊急事態宣言発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている（確認事項42）				
・緊急事態発生時における危機管理体制の構築。	3	・図書館施設及びみどりの広場で活用できる「初動調査チェック表」を作成し、緊急時に備えています。	3	危機管理体制が構築されていることを確認した。
・緊急時の指揮系統と連絡系統図の作成。	3	・緊急時には、常時連絡が取れるように総括責任者、各社担当者及び施設管理に係る24時間対応可能な連絡先一覧を作成しています。	3	緊急時の指揮及び連絡系統図が作成されていることを確認した。
構成員間（本支社間含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容になっている（確認事項43）				
・共同事業体協定書に役割分担を定めるほか、別途、契約等の手続きを行い、リスク分担を明確にしているか。	3	・リスク分担表をもとに、リスクの内容、負担者を理解し、適正に手続きを行います。 ・事前に各社間で意見交換を行い、事前にリスクヘッジできる関係を構築しています。	3	構成員間の役割分担と市と指定管理者のリスク分担が明確にされていることを確認した。
・各社業務に対して施設賠償保険等に加入している。	3	・加入しています。	3	各種保険への加入を確認した。
【その他】				
利用者サービスを維持・向上させる具体的な取り組みについて提案されている（確認事項44）				
施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている（確認事項45）				
・各種香里ヶ丘エリア地域活性化事業の実施。	3	・4月29日「グリーンライブラリー」を実施しました。 ・8月23日「あそぼう！ボードゲームで！！」を実施しました。香里ヶ丘こどもボードゲームクラブWITH E の協力を得てイベントを実施。子ども達が主となり、参加者にゲームの遊び方を指導。図書館資料『ミッケ！』シリーズを用いたゲームなど、参加者同士の交流が生まれました。 ・11月26日香里ヶ丘CO・COフェスタ連携協力（UR都市機構UR香里団地D-1敷地内の広場活用）みどりの広場で、モルック体験を実施。	3	UR都市機構と連携した地域活性化事業の実施を確認した。引き続き効果検証を行いながら地域活性化への取り組みの発展的な事業展開を期待する。

・各種生涯学習事業の実施。	3	・6月、4回連続講座「初心者向けくずし字講座」実施しました。のべ参加者：46名。 ・11月3日「大人の塗り絵教室」を実施しました。参加者：大人18名 ・2月18日「鉄道おもしろ講座」実施しました。参加者：子ども16名、19名。	3	生涯学習事業の実施を確認した。好評を博した企画はの継続、また、ニーズの調査を行いながら新たなテーマでの企画にも期待する。
・各種保育園、幼稚園、学校との連携事業の実施。	3	・6月、香陽小学校、10月、開成小学校、五常小学校、11月、川越小学校図書館見学受入。 ・9月、川越小学校、11月、五常小学校訪問おはなし会を実施しました。 ・11月、第四中学校の職場体験4名受入実施しました。 ・1月、1階香里ヶ丘ギャラリーから2階エレベーターホールにて「枚方市立幼稚園児絵画展」を開催しました。孫や子の作品を一目見ようと来館されるご家族のほか、地域の方々にも広く楽しんでいただきました。	3	施設周辺に学校園が多い環境にあり、様々な事業が実施されたことを確認した。また、ギャラリーを活用した取り組みが好評を博した点は評価できる。ギャラリーの活用も含め、引き続き精力的に連携を進められることを期待する。
・各種広報の取り組み。	3	・広報誌「香里の風」を隔月で発行しています。特集展示の際にはブックリストも同時に展示し、希望者にはコピーをお渡しています。 ・「香里ヶ丘ティーンズ通信」春号・夏号・秋号・冬号を年4回発行。 ・デジタルサイネージの活用、SNSの運用を行っています。	3	各種広報の定例的な取り組みを確認した。
・香里ヶ丘図書館公式LINEの開設	3	・次年度以降に実施予定。	3	年度事業計画書に記載はないが、事業計画書にのっとり、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
・公式HPのリニューアル	3	・令和5年4月よりバーチャル香里ヶ丘図書館をHPに公開し、マイナーチェンジを行いました。	3	HPのマイナーチェンジを行い、追加したコンテンツであるバーチャル図書館は図書館見学の関連ツールとしても活用されていることを確認した。
・ポスティングによる広報活動	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。
・プレスリリースの制作、各種マスコミ機関への送付。	3	・次年度以降に実施予定。	-	年度事業計画書に記載はないが、次年度以降早い段階で適正に実施されることを期待する。

指定管理者による一次評価 平均点	3.1	所管部署による二次評価 平均点	3.0
------------------	-----	-----------------	-----

評価項目 1 (1)の評価基準		
S	事業計画における提案以上に、良好な管理運営を行っている	二次評価の平均点が 4 点以上
A	事業計画に則した適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が 3 点以上 4 点未満
B	事業計画の履行において一部努力が必要だが、概ね適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が 2 点以上 3 点未満
C	事業計画の履行において、抜本的な管理運営の改善が必要	二次評価の平均点が 2 点未満

評価項目 1 業務の履行状況 (1) 選定時の基準 (確認事項)・事業計画の内容 (目標)に関する事項の評価 (所管部署)	A
---	---

(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況 (使用料の収入実績を含む)

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正 (適切) である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正 (適切) である
×	不適正 (不適切) である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・収支予算書と比較して収入額が大幅に減少していない。／大幅に減少している場合、その理由が妥当で、今後安定した収入を得られる見込みがあるか。	○	・収支予算書と比較して収入額が大幅に減少しておりません。	○	収支予算書及び収支・利用状況により、収入額が大幅に減少していないことを確認した。
・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目がない。／想定外に多く支出している費目がある場合、その理由が妥当で、今後、予定外の支出が発生するおそれがないか。	○	・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目はございません。	○	収支予算書及び収支・利用状況により、想定外に多く支出している費目はないことを確認した。
・運用資金の借入を行っていない。／借入を行っている場合、その理由が妥当か。	○	・運用資金の借入は行っておりません。	○	運用資金の借入を行っていないことを確認した。
・口座管理、つり銭等の現金管理は適正に行われているか。	○	・多目的室使用料の収納代行業務に関わる現金管理は適正に行っております。	○	現金管理が適正に行われていることを確認した。

評価項目 1 (2)の評価基準		
S	全ての項目が適正 (適切) であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適正 (適切) である	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね適正 (適切) である	△が1個以上
C	不適正 (不適切) な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目 1 業務の履行状況 (2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況の評価 (所管部署)	A
---	---

(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）に実施している。
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）に実施している。
×	実施していない、又は不適切な点がある

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・募集要項 2 ページに記載している再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行われているか。	○	・第三者に全部若しくは一部を委託することはできない業務（再委託禁止項目）を遵守しています。自治体に第三者委託の伺い書を提出し、承認についての通知書を受理しています。	○	委託契約書等を確認し、再委託禁止としている業務を再委託していないことを確認した。
・指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理しているか。	○	・指定管理業務に伴い発生する収入は、専用口座により管理している。支出は代表企業の社内規定により、他業務との一括口座にて管理しているが、本指定管理業務にかかる支出は別途データで管理しています。	○	指定管理業務に伴い発生する収入は、専用口座により管理している。支出は代表企業の社内規定により、他業務との一括口座にて管理しているが、本指定管理業務にかかる支出は別途データで管理している。
・個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に関し必要な措置を講じているか。	○	・適正に必要な措置を講じています。	○	個人情報保護や情報セキュリティに関連する職員研修を行うとともに、導入しているPCに不正アクセスやコンピュータウイルス侵入に備えセキュリティソフトをインストールして運用している。
・労働基準法等の労働関係法令を遵守しているか。	○	・労働基準法等の労働関係法令を遵守しています。	○	労働基準法をはじめとする各種関係法令を遵守している。
・職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っているか。	○	・条例に基づき記録等の対応を行っています。	○	同条例に基づき意見、要望等を記録するほか、必要な対応を行っている。
・指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に関し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存しているか。	○	・文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存しています。	○	文書管理に関する規定を定め、適正に管理・保存している。
・募集要項13ページに記載している「環境への配慮」が適切に行われているか。	○	・環境に配慮し、適切に行っています。	○	不必要に電気を消費しないように努めるなど、朝礼時などに省資源、環境に配慮した行動をとるよう声掛けを行うなどしながら運営を行っている。
・適切な保険に加入しているか。	○	・賠償責任保険に加入しています。	○	各種保険に加入している。
・指定管理者名と設置者としての市の連絡先を施設内に表示するとともに、利用料金表等に明記しているか。	○	・施設内に表示、明記しています。	○	指定管理者名等の表示の明記を確認した。
・障害者法定雇用率が達成され（又は達成に向けて取り組み）ており、募集要項14ページに記載している障害者差別解消に関する取り組みが行われているか。	○	・両社ともに、障害者法定雇用率を達成しています。障害者差別解消法の取り組みを理解した上で、十分に配慮した対応を行っています。	○	両社とも障害者法定雇用率を達成している。
・利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの情報収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善に取り組んでいるか。	○	・アンケート等の結果を踏まえて、適宜、改善に取り組んでいます。	○	アンケート等の結果を踏まえた対応が図られていることを確認した。
・事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告されているか。	○	・各種報告書について、適切に報告しています。	○	各種報告書等の提出及び業務実施状況の報告が適切に行われていることを確認した。
・施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されているか。	○	・適切に把握し、適宜、市に報告を行っています。	○	修繕の実施記録等の把握が適切に行われているとともに、市へ報告されていることを確認した。

評価項目 1 (3)の評価基準		
S	全ての項目が適切に実施されており、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適切に実施されている	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね適切に実施されている	△が1個以上
C	不適切な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目1 業務の履行状況 (3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項の評価 (所管部署)	A
---	---

(4) 改善指示等への対応状況

指示を行った時期	内 容	指定管理者による一次評価	所管部署による二次評価
		対応状況	評価内容

評価項目 1 (4)の評価基準	
S	全ての内容について適切に対応されており、かつ、特に優れた対応が見られる
A	全ての内容について適切に対応されている
B	一部対応が不十分な点又は改善を要する点が見られるが、概ね適切に対応されている
C	不適切な点があり、直ちに対応又は改善を求める

評価項目1 業務の履行状況 (4) 改善指示等への対応状況の評価 (所管部署)	
---	--

2 業務の継続性・安定性

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・応募の資格に抵触する事項はないか。	○	・適正である	○	応募資格に抵触する事項はない。
（監査報告書等） ・会計手続きが適正に行われていることが確認できたか。	○	・適正である	○	会計手続きが適正に行われていることを確認した。
（監査報告書等） ・事業の存続に関わる異常事項が指摘されていないか。	○	・適正である	○	異常事項が指摘されていないことを確認した。

（貸借対照表） ・資産・負債の中に大きな前期比増減がない。／ある場合、その理由は妥当か。	○	・適正である	○	大きな前期比増減は生じていない。
（損益計算書等） ・安定した収益をあげられているか。（赤字となっていないか。）	○	・適正である	○	安定した財務状況となっている。
・施設の収支状況（自主事業の収支を含む）が安定しているか。（赤字の場合は、その赤字分を継続的・安定的にカバーできる財務状況となっているか。）	○	・適正である	○	安定していることを確認した。
・その他、団体の経営に影響する要素はないか。	○	・適正である	○	団体の経営に影響する要素はないことを確認した。

評価項目2の評価基準		
S	継続的・安定的にサービスを提供できる状態であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	△が1個以上
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目2 業務の継続性・安定性の評価（所管部署）	A
---------------------------	---

3 指定管理者による一次評価（総括）

一次評価コメント

- ・令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症の5 類感染症移行後も、継続して施設の換気・消毒等、可能な限りの感染症対策を徹底しながら、市民の皆さまに安心・安全にご利用いただけるよう図書館運営に努めました。
- ・令和5年度（2023年度）図書館統計（個人）では、来館者数 309,165 人（前年比102%）、貸出冊数 671,769冊（102%）という実績となっており、昨年度に続き、市内分館の中で最も多くの方にご利用いただいています。1階自習席、2階自学自習タイムについては、21,884件（前年比104%）の利用があり、近隣中学・高校生等の放課後の自主勉強や交流の場として多くの方にご利用いただいています。
- ・図書館とみどりの広場の連携事業として、「あおぞらおはなし会」、「モルック体験」、「おにいさんのあおぞらおはなし会」、「初心者写真教室」、「野鳥講座～バードウォッチング」等を開催し、年間計18回（前年度15回）、431名（前年度260名）のご参加をいただきました。各イベント参加を通じて、初めて図書館に来館された方には、新規登録のご案内を行い、利用者の獲得に繋げています。また、ポップアップレントや遊具貸出を行い、子どもの野外活動・遊びの幅を広げるためのサポートを行い、日常的な図書館と公園の相互利用促進に取り組みました。
- ・地域連携イベントとして開催した「モルック体験」については、単なる健康スポーツとしてだけでなく、認知症やバリアフリー、世代間交流、地域住民の居場所づくり等、様々な切り口で将来的な展開を見込めることから、令和6年度より、広場での貸出備品に追加し、体験会の定期開催を検討しています。また、課題解決支援を目的とした事業として、3回連続講座「健康講座 女性特有のがんとリンパ浮腫～リンパドレナージュについて～」を実施しました。香里ヶ丘地域の診療所医師とセラピストの講演や、患者の会の体験談等、参加者の関心と満足度は高く、次年度も継続して開催する方向で、連携先との協議を進めています。
- ・学校連携では、図書館見学、訪問おはなし会、中学校職場体験生徒によるビブリオトーク、枚方市立幼稚園児絵画展等、学習機会や発表の場として、積極的に受入れを行っています。
- ・障害者法定雇用率につきましては、令和5年度、雇用率設定2.3%を両社ともに達成している状況です。各社で採用活動を継続し、現場においても障害者が勤務できる職場環境を整える等の対策を講じて、更なる改善に向けて取り組んでまいります。
- ・今後も施設の認知度を高め、地域の生涯学習の拠点として、地域の皆様にご利用いただけるよう努めてまいります。

4 所管部署による二次評価（総括）

(1) 評価項目ごとの評価結果（再掲）

評価項目		評価結果
1 業務の履行状況		
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項		A
(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）		A
(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項		A
(4) 改善指示等への対応状況		
2 業務の継続性・安定性		A

(2) 二次評価コメント

【図書館】
統計関係では、来館者数・貸出冊数などほぼすべての項目で増加を続けており、建替以降は順調に利用を伸ばしており、地域に根差した図書館であることが窺える。数値目標である貸出冊数（54万冊）は671,769冊、来館者数（30万人）は309,165人と、いずれも目標を達成しており、とりわけ貸出冊数は約67万冊と大きく目標を上回っていることから、目標の上方修正を検討されたい。収支の差については、開館5周年を迎える次年度以降、指定管理料を計画的かつ効果的に執行し、施設の適正な管理運営に努めていただきたい。
年度事業計画書に記載した事業については、ほぼ実施され、読書活動推進や地域との連携を重ね、また、利用者間のつながりが窺えるなど、図書館の存在価値が地域の中で高まってきていることは高評価に値する。実施できなかった事業についても次年度以降に着実に実施するよう検討が進んでいる。
令和6年度は指定管理期間の2年目を迎える。事業計画書において提案された内容については、年度事業計画書に記載がなくとも、指定管理期間中の早い段階で効果的に実施されることを期待したい。
なお、事業を実施する際にはアンケート調査や聞き取りなどで、参加者の満足度確認を行うなど、積極的に効果測定を行いながら、次の事業につなげていただきたい。
最後に、図書館で出会った一冊の本、本の中の一文は、読み手の人生や考え方に大きな影響をもたらす可能性を秘めており、そうした出会いの場を提供する施設であることを念頭に、地域とのつながりを大切にしながら地域の中での香里ヶ丘図書館の存在価値を追求する姿勢を保ち続けていただきたい。

【みどりの広場】
みどりの広場においては、イベントを継続的に実施しており、これまで以上の市民が参加している。引き続き提案されたイベント等を着実に実施し、良好な景観の維持に努めながら、みどりの広場が地域の活性化の拠点として定着することを期待する。また図書館とみどりの広場の整備方針を踏まえ、これまで以上に双方が一体的に利用されるような取組が実施されることを期待する。

5 添付資料

◆収支・利用状況